Panasonic®

・この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

パイプファン　工事説明書

（人感センサー・パネル式高気密シャッター付）

用途	居室・トイレ・洗面所用	品番	φ100パイプ用	
			電源コード付きタイプ	速結端子付きタイプ
			FY-08PPR7	FY-08PPR7D

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

■仕様変更・改造は絶対にしない

火災・感電・けがの原因となります。

分解禁止

■交流100ボルト以外で使用しない

火災・感電の原因となります。

禁止

■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける

漏電した場合、火災の原因となります。

⚠注意

■浴室など、湿気の多いところに取り付けない

感電や故障の原因となります。

水場使用禁止

■部品は確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する

落下により、けがをするおそれがあります。

■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実におこなう

誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

■本体は指定の方法で確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

お願い

■高温になる場所（周囲温度40℃以上）に取り付けないでください。

製品の変形やモーターの寿命を縮めます。

■直射日光など当たる場所に取り付けないでください。

誤動作の原因となります 。

■給気口を設けてください。

効果的な換気ができません。

■台所など、油煙の発生する場所に取り付けないでください。

ルーバーなどの破損の原因となります。

■スプレーがかかる場所に取り付けないでください。

故障の原因となります。

■有機溶剤がかかる場所に取り付けないでください。

故障の原因となります。

■有毒ガス（亜硫酸ガスなど）の発生がある場所に取り付けないでください。

故障の原因となります。

■製品の前に障害物がないように取り付けてください。

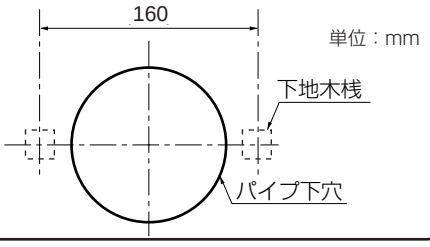
センサーの感知感度が悪くなります。

■アルミフレキダクトには取り付けないでください。

やむを得ない場合は、取り付け時、ダクトの変形、羽根あたりに十分注意してください。

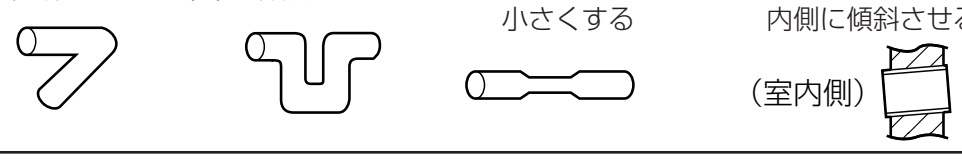
■パイプファンを石こうボードに取り付ける場合は、下地木桟または市販の石こうボード用アンカーを使用してください。天井付けの場合は、必ず木枠を設けてください。

振動が発生する原因となります。

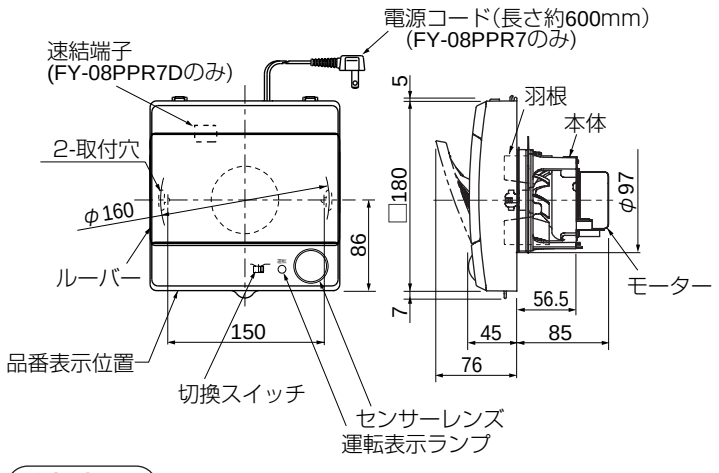


■次のような配管工事はしないでください。

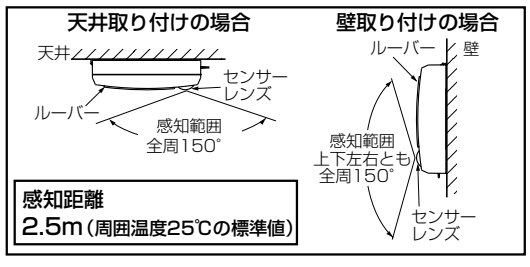
（1）極端な曲げ　（2）多数回の曲げ　（3）接続パイプ径を小さくする　（4）壁埋込パイプを室内側に傾斜させる



各部の名前と寸法　単位：mm



センサー感知範囲



お願い

この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

付属品

ねじ（本体裏面に付属）……2個
（本体固定用）

取扱説明書……1冊
（必ずお客さまにお渡しください）

■この換気扇は次のパイプに取り付けることができます。

適用パイプ（呼び径）	外　径	内　径	下穴径
VP100	φ114	φ100	φ115
VU100		φ107	
FY-KP04	φ103	φ100	φ105

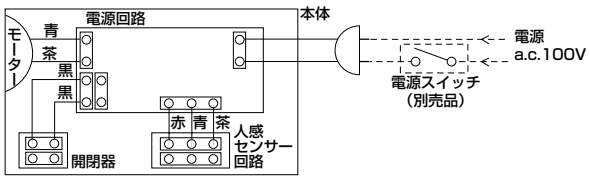
■別売の省施工パイプセット（FY-PAP041 呼び径100用）はご使用になれません。

●VPパイプにパイプファンを取り付けた後、VUパイプには取り付けないでください。（風漏れ防止のため）

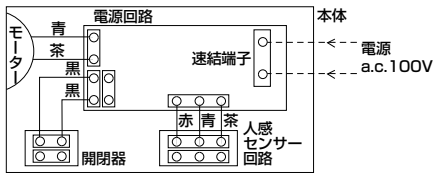
●VPパイプに取り付ける際には、取付ばねを取りはずしてください。

結線図

電源コード付きタイプ（FY-08PPR7）



速結端子付きタイプ（FY-08PPR7D）



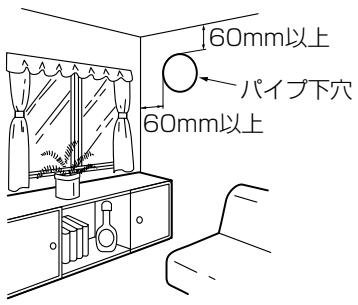
■全自動タイプでも、パイロットランプ付きの電源スイッチを使用する場合、パナソニック（株）製 WN52412（2W～50W）をご使用ください 。
別売のパイロットランプ付きの電源スイッチには、消費電力10W以下の製品ではパイロットランプが点灯しないものがあります。

施工方法　以下の手順に従って施工してください。

1　パイプ・パイプフードの取り付け

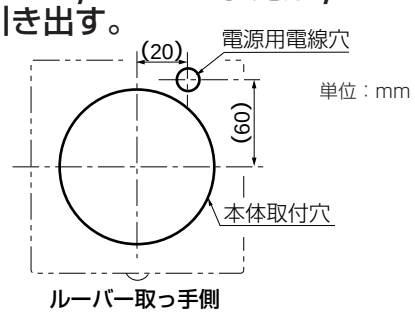
壁に取り付ける場合

①取り付け場所を決める。
「安全上のご注意」を参考にして取り付け位置を決め、パイプ下穴を開けてください。

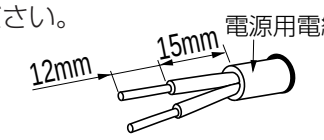


下穴径は、使用するパイプにあった穴径を選んでください。

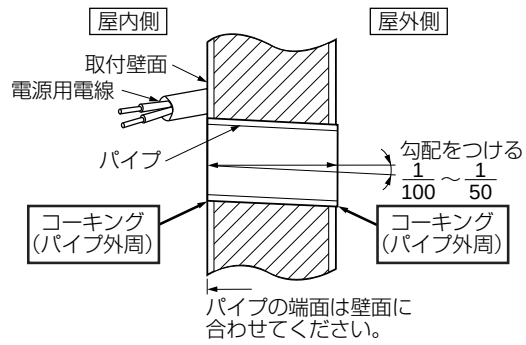
②「速結端子付きタイプの場合のみ」壁に穴（φ10mm）をあけ、電源用電線（VVFφ1.6mmまたはφ2.0mm）を引き出す。



■電源用電線の先を図のように加工してください。

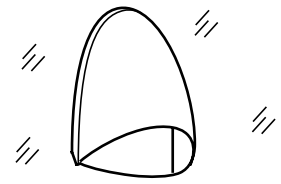


③パイプを壁に埋め込む。
パイプはかならず取り付け、取り付け壁面にコーキング処理を施し、パイプがぐらつかないよう確実に固定してください。



■石こうボードに取り付ける場合は、下地木桟（お願い項目のイラスト参照）または市販の石こうボード用アンカーを必ず使用してください。

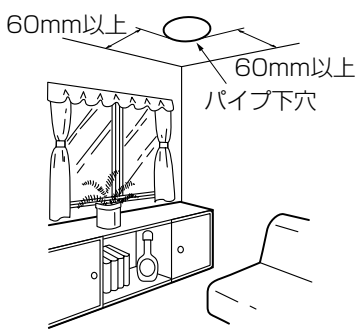
④外壁面には、パイプフード（別売品）、ベントキャップ（別売品）を取り付ける。



■パイプフード・ベントキャップの施工方法はそれぞれの工事説明書をお読みください。
特に薄壁(壁厚90mm以下)の場合は、薄壁用のパイプフード・ベントキャップを選定してください。また、パイプフード・ベントキャップが、換気扇本体に当たらないように施工してください。

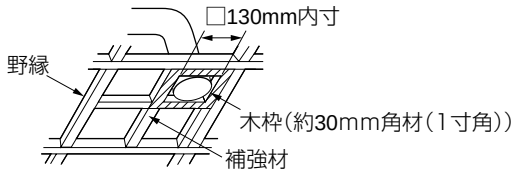
天井に取り付ける場合

①取り付け場所を決める。
「安全上のご注意」を参考にして取り付け位置を決め、パイプ下穴を開けてください。



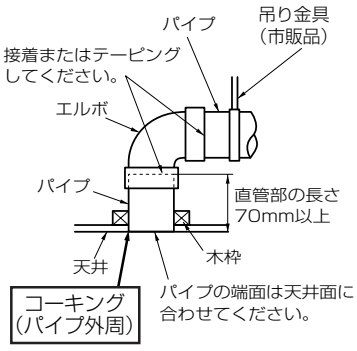
下穴径は、使用するパイプにあった穴径を選んでください。

②木枠をつくり野縁に固定する。

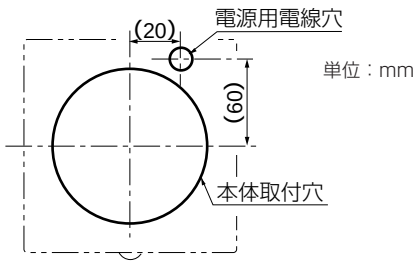


■本体を確実に固定するために必ず木枠を設置してください。

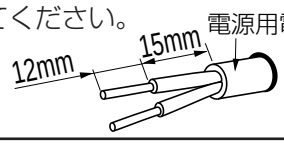
③ダクト工事をする。



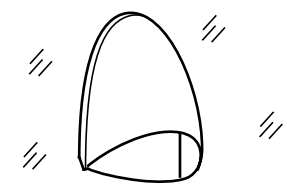
④「速結端子付きタイプの場合のみ」壁に穴（φ10mm）をあけ、電源用電線（VVFφ1.6mmまたはφ2.0mm）を引き出す。



■電源用電線の先を図のように加工してください。



⑤外壁面には、パイプフード（別売品）、ベントキャップ（別売品）を取り付ける。

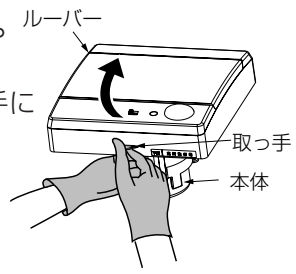


■パイプフード・ベントキャップの施工方法はそれぞれの工事説明書をお読みください。

2　本体の取り付け　壁・天井同様に取り付けます。

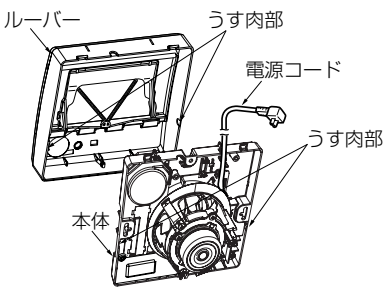
①ルーバーをはずす。

(1)本体を持ち、ルーバー下面の取っ手に指を引っ掛け、
(2)上に上げてはずす。

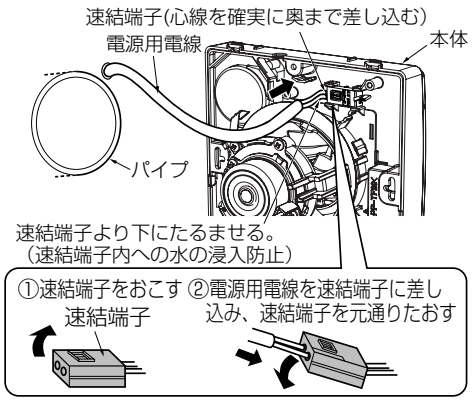


②「電源コード付きタイプの場合のみ」電源コードの長さ・方向を決める。

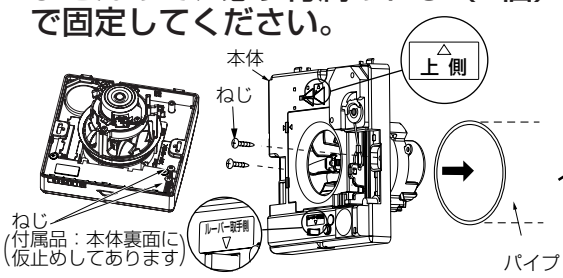
■電源コードを右、左から出す場合はルーバー、本体裏面のうす肉部をナイフで切り取り電源コードを出す。



③「速結端子付きタイプの場合のみ」本体裏面の速結端子に、電源用電線を確実に差し込む。



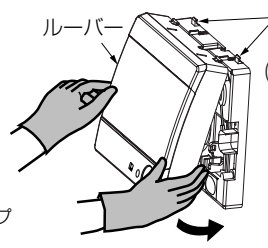
④本体をパイプに差し込み、ルーバー取手側に寄せて固定する。（風漏れ防止のため）本体には仮止め機能はありませんので、必ず付属のねじ（2個）で固定してください。



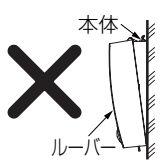
■壁、傾斜天井に取り付ける場合は、上側表示を上にして取り付けてください。
■本体と壁面の間にすき間がある場合は、左右に数回ひねって押し込んでください。
■VPパイプに取り付ける際には、取付ばねを取りはずしてください。

⑤ルーバーを本体に取り付ける。

(1) ルーバーを本体上部のツメ（2か所）に引っ掛け、
(2) 壁面に当たるまでおろす。



(3) ルーバーが確実に取り付いているか確認してください。



左図のようにルーバーが傾いて取り付けていませんか？ルーバーは本体上部のツメに引っ掛けてから確実に設置してください。

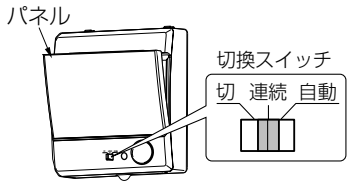
3　試運転

■運転方法（本体切換スイッチ操作による運転）

切換スイッチ	操作	状況	運転ランプ
切	切 連続 自動	運転停止	消灯
連続	切 連続 自動	室内への人の出入に関係なく連続運転 （室内の空気の汚れを強制的に排気させたいときにお使いください。）	点灯
自動	切 連続 自動	人感センサー感知による自動運転 室内の人の動きを感知したとき……運転 退室、室内の人の動きがないとき……停止	点灯 消灯

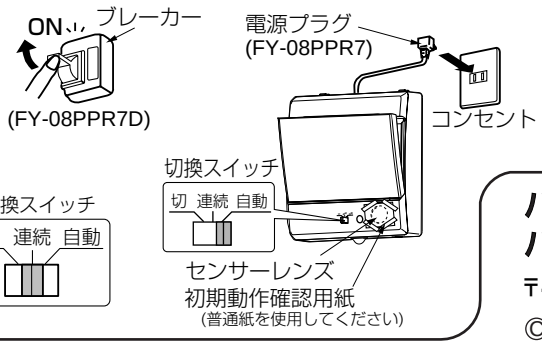
■連続運転の確認

切換スイッチを「連続」の状態にして運転し、異常がないか確かめる。
●パネルが開き、羽根が回っていますか？
●異常な振動・騒音がありませんか。
※パネルが開かない場合は、取扱説明書のお手入れのしかた（ 取り付けかた 「■ルーバー」）に従い、ルーバーを取り付け直してください。



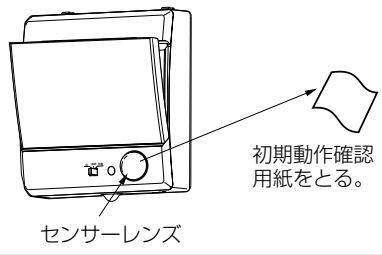
（参考）自動運転の確認

①初期動作の確認
(1) 初期動作確認用紙（普通紙を使用してください）をセンサーレンズがかくれる大きさに切り、テープなどでルーバーに貼り付けてください。
(2) 切換スイッチを 自動 にしてください。
(3) プラグコードタイプ→電源プラグをコンセントに差し込む。
速結端子付→ブレーカーを「ON」側にたおす。
（パネルが開き、羽根が回るのを確認する）



②停止の確認
約5分後に停止するか確認してください。
■初期通電時には切換スイッチ自動の状態でも感知の有無にかかわらず、始めの約5分間は運転します。

③自動運転の確認
(1) ①②の確認が終りましたら初期動作確認用紙を取り除いてください。
(2) 人体を感知して運転することを確認してください。
（パネルが開き、羽根が回るのを確認する）



パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511

©Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2008

08PPR7401G-P1102-7012